

13	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	16109004	Bリンパ球のホメオスターシスと活性化の制御機構の研究	高津 聖志 (東京大学・医学研究所・教授)	A
<p>(意見等)</p> <p>本研究はB細胞のホメオスターシスに関してサイトカインIL-5による制御、アダプター分子(LnkやAPS)による制御の両面から解析しようとするものである。これらの解析の結果、IL-5がB-1細胞の生存や維持に重要であること、LnkがB細胞分化や造血肝細胞増殖に対して抑制的に作用することを見出した。また、結核菌由来のTcRペプチド(Peptide 25)とMHC Class IIの相互作用によりTh1やTh2細胞への分化が決定されることを明らかにしている。これらの成果は、数は少ないが質の高い論文として発表されており、当初の目的がほぼ順調に達成されつつあると考えられる。</p>				
14	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	16109005	糸球体硬化症	市川 家國 (東海大学・医学部・教授)	A
<p>(意見等)</p> <p>podocyteを増殖させて腎障害を回復するという着眼点は画期的であり、概ね順調に成果を上げつつあることから、是が非でも、マウス株を確立するところまで至ってほしい。このマウス株が確立されるならば、当該分野ならびに関連分野の研究の発展への貢献はきわめて大きいと考えられる。研究成果に関しては、論文の質は高く優れた内容である。</p>				